

器51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 短期的使用鼻咽頭エアウェイ 70260000

SMU経鼻エアウェイ

再使用禁止

【警告】

併用医療機器

本製品の近くでは、レーザー手術装置や電気手術器は使用しないこと。[レーザー光線や電極に接触すると、急激に燃焼する危険性がある]

【禁忌・禁止】

再使用禁止

〈適用対象(患者)〉

鼻骨折、上顎骨骨折、頭蓋底骨折、脳出血が疑われる患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本製品は、シリコンゴム製の経鼻エアウェイであって、可動式の固定板を具備している。



〈材質〉

チューブ：シリコンゴム
固定板：シリコンゴム

〈原理〉

チューブの先端を鼻腔に沿って咽頭まで挿入することで、患者の気道を確保することができる。

【使用目的又は効果】

本製品は鼻腔から咽頭に挿入し、気道の開存性を維持する目的で使用する。

【使用方法等】

1. 本製品は、滅菌済ディスポーザブル製品であるので、1回限りの使用のみで再使用しない。
2. 一般的使用方法
 - 1) 本製品の先端に潤滑剤を塗布する。
 - 2) 本製品を鼻腔から適切な位置まで挿入する。
 - 3) 本製品からの呼吸を確認する。
 - 4) 必要に応じ固定板を移動させる。
3. 使用方法等に関連する使用上の注意
 - 1) 一般的事項
 - ① チューブに施されている目盛りマーキングで、チューブの挿管深度を決定しないこと。[目盛りマーキングは挿管深度の単なる目安である]
 - ② チューブの先端孔には潤滑剤を塗布しないこと。[潤滑剤により、チューブ内腔が閉塞する危険性がある]
 - ③ 挿管は慎重に行うこと。[無理な挿管は鼻腔、咽頭損傷の原因となる]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
挿管の状態を常に確認すること。[患者の体動等によりチューブが移動する可能性がある]
2. 不具合・有害事象
 - 1) 不具合
本製品の使用に際し、以下のような不具合が生じる可能性があります。
 - ・ 挿管時に用いた潤滑剤、分泌物等によるチューブ閉塞
 - 2) 有害事象
本製品の使用に際し、以下のような有害事象が生じる可能性があります。
 - ・ 鼻腔、咽頭の粘膜損傷や出血
 - ・ 喉頭痙攣の誘発

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間
製品ラベルに記載 [自己認証(当社データ)による]
(適切な保管状態が保たれていた場合)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 0248-25-0790

発 売 元 富士システムズ株式会社
SMU本部 TEL 03-5689-1903